

## 北神けいろうの国政報告：3月号

いつも大変お世話になっています。

### 経済対策は、効果ある分野に限定すべし

景気が、急ブレーキを踏んだように、急速に悪化しています。

各国は景気対策として、大型の財政出動をしています。どの程度の効果があるのか、非常に疑わしい。日本は前回の平成不況の際に141兆円も税金を使い込んだが、結局、10年後にようやく景気が好転しました。しかも、それは、企業がリストラで人件費を削る一方で、中国、米国への輸出が増えた理由が大きい。

もちろん、今、財政再建をする状況ではありません。しかし、先進国の中でもっとも財政が厳しい日本は、効果ある分野に限定して、貴重な血税を使うように心掛ける必要があります。

### 決算に向けて、資金繰りがさらに厳しくなる

当面は、今月末の決算に向けて、企業の資金繰りが極めて厳しくなります。政府は、銀行の融資を保証する緊急保証制度の枠を20兆に拡大しました。また、公的金融による融資枠を10兆円に広げました。

民主党は、こうした対策については、基本的には賛成しています。ただ、一方で、こうした制度が「非常に使いにくい」という経営者たちの現場の声も聞いています。

**「北神けいろう」からポスター掲示のお願い!!**

### 中小企業の現場の声を届けます

私は、こうした声を受けて、昨年末の経済産業委員会で、二階経済産業大臣にたいして、「緊急保証制度を受けるためには市町村の認定をもらわなければならない。ところが、窓口が混雑していて、何日も待たされているのが現状だ。人員を増強するなり、この混雑状態を解消すべきだ」と主張しました。

先日、中小企業庁にたいして、「あの時の質問にたいして、何か対策を打ったのか」と聞いたところ、「市町村だけでなく、商工会議所にも認定業務を依頼している」との返答をもらいました。

私は、今月中に調査をしますが、これでもまだ足りないのではないかと思っています。商工会議所も結構だが、むしろ、民間の金融機関にも手伝ってもらう方が、企業にとって便利ではないのか。こうした提案だけでなく、手続の簡素化等、みなさまの現場の叫び声を国会や中小企業庁に届けてまいります。

### 今回の不況は災害である

今回の不況は、米国発の金融危機によるものであり、日本の経営者に責任はありません。災害のようなものです。こうした企業が、少なくともこれまで受けていた貸付を継続できるために、政府が協力するのは当たり前です。もちろん止血のための応急措置であり、これだけでは経済対策としては完結しませんが、必ずやらなければならない。使い勝手がいいようにするために、私もさらに奮闘してまいります。

新しい政治党ポスターができました。自宅や店舗の外壁、フェンスなどへ、ポスターのご掲示の御協力をお願いいたします。